

## ボリューム単位暗号化ソフトウェア

# FPVE

## File Protector Volume Encryption

File Protector Volume Encryption (FPVE)は、Windows 2008 Serverに暗号化機能を実装可能なボリューム単位の暗号化ソフトウェアです。定常状態でボリュームが暗号化されているため平文状態に戻ることはありません。



## File Protector Volume Encryption (FPVE) とは?

- ▶ 上書き削除禁止機能によるログの保護
- ▶ Administrator権限からのデータ保護
- ▶ 異なるプラットフォーム間でデータのやりとりが可能
- ▶ VMware, Hyper-V, Xenでの動作

File Protector Volume Encryption (FPVE)は、米Protegrity社によりボリューム単位の暗号ソフトウェアとして開発されました。

定常状態で、ボリュームが暗号化されているため、Microsoft Bit LockerのようにWindowsの起動中は平文状態に戻るようなことはありません。(\*1) (OSがインストールされている領域はアクセスコントロールのみ可能)

FPVEはアクセスコントロールと暗号化目的だけでなく、個人情報保護、内部統制、PCI DSS (\*2) 等の対策として有効です。

- AC (Access Control) …… 暗号鍵をベースにしたセキュリティ・ポリシーの形になっているアクセスコントロール
- VE (Volume Encryption) …… ボリューム/パーティション単位の暗号化

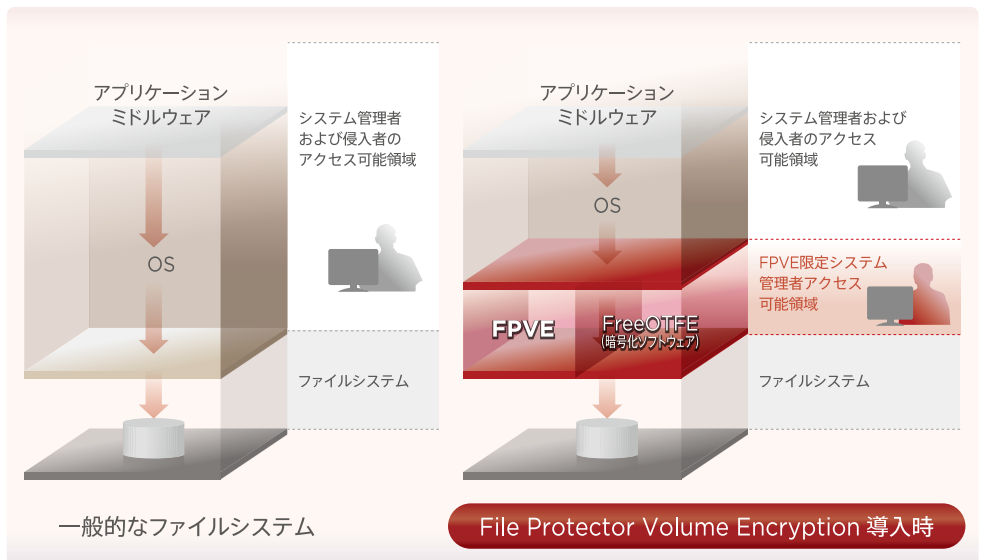
\*1: BitLocker は、オフライン攻撃を対象とした防御方法であり、Windows の実行中は、ボリュームのロックが解除されます。つまり、実行中のシステムを BitLocker によって保護することはできません。

\*2: Payment Card Industry Data Security Standard:カード産業データ・セキュリティ基準

## FPVE テクノロジー

アプリケーション・ミドルウェアと同一の階層に暗号化ソフトウェアが存在する場合、万一ハッキング被害に遭いシステム管理者権限を乗っ取られた場合、情報漏えい・改ざんのおそれがあります。

File Protector Volume Encryption (FPVE)はシステム管理者権限よりも、よりファイルシステムに近い位置でファイルをコントロールし情報漏えいに備えます。

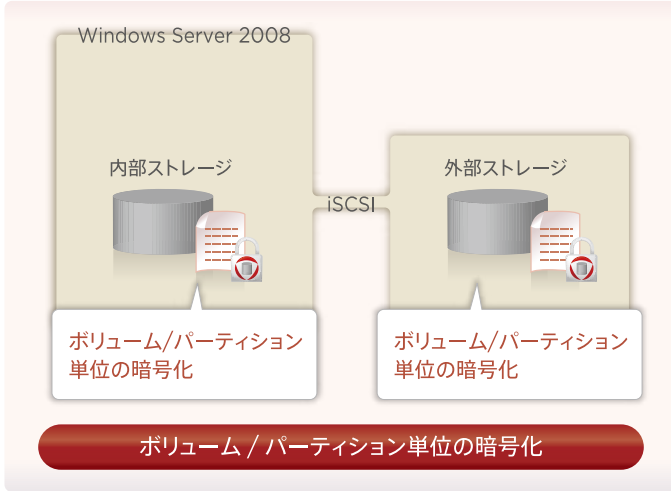


## FPVE仕様 (対応OS)

OS	Microsoft Windows 2008(32bit/64bit)	Microsoft Windows 2008 R2(64bit)
CPU	Pentium4 2.4GHz以上(Xeon 2.4GHz × 2以上を推奨)	
RAM	1GB以上	
HDD	10MB以上	
Microsoft Filter Manager		

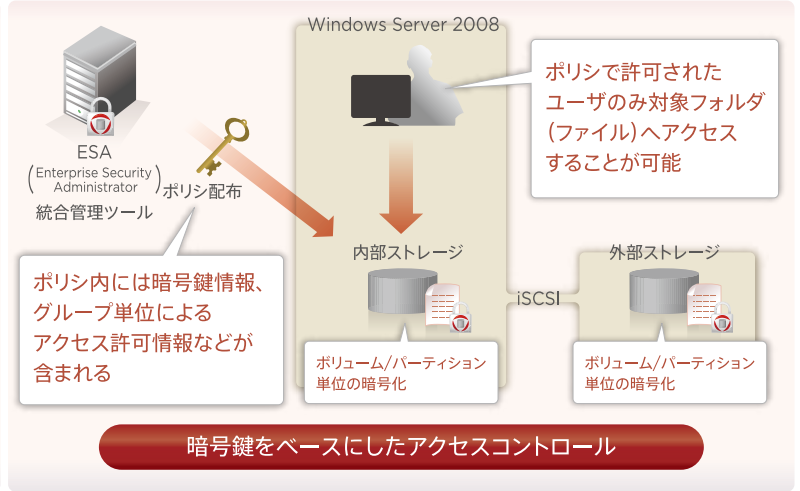
## ボリューム単位での暗号化

ボリューム/パーティション単位の暗号化機能(VE)の導入で、重要データを常時暗号化し、OSのファイルアクセス層を経由しない不正なアクセスからデータを保護すると同時に、セキュリティ・ポリシーで許可されたユーザ、プログラム、プロセスから暗号データに透過的にアクセスすることが可能になります。



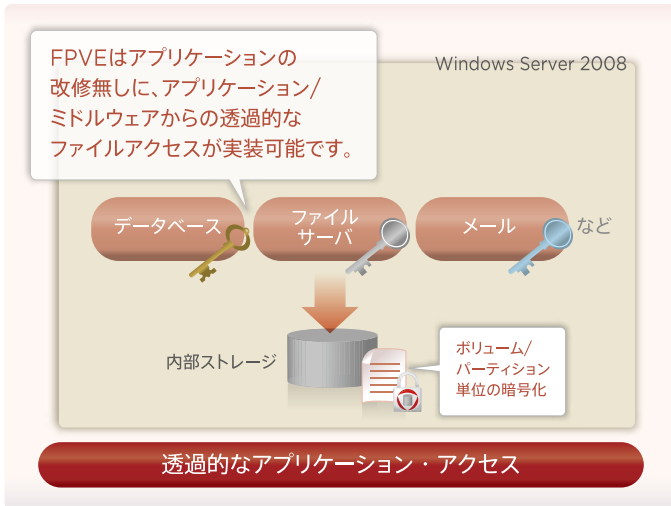
## ルールベースのアクセスコントロール

FPVEは、アクセスコントロール機能を持っており、暗号化された領域へのアクセスは、ルールベースのポリシーにて制御可能です。(Read /Write /Delete /Protect /Create)



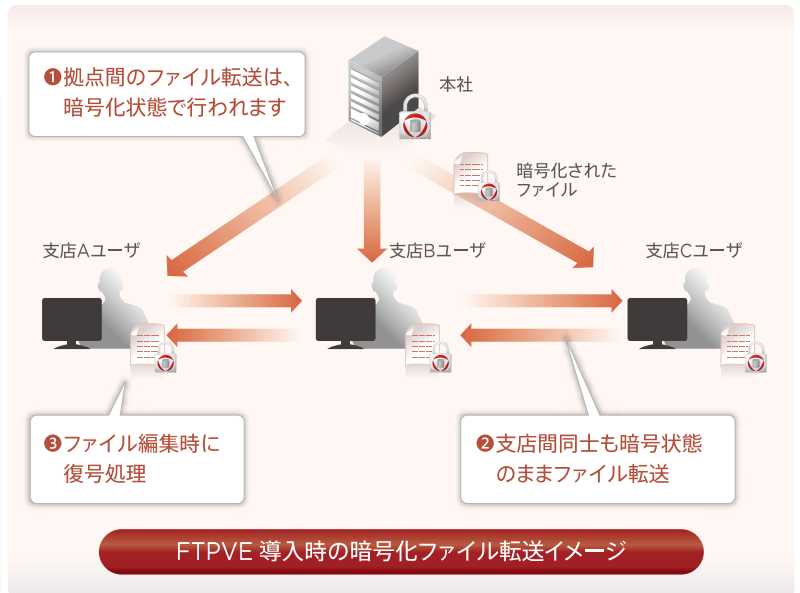
## 暗号化ファイルへの透過的なアクセスが可能(デリゲート機能)

アプリケーション/ミドルウェアの改修を行わずに、暗号化ファイルへの透過的なアクセスが可能です。FPVEはデリゲート機能を持ち、FPVEに許可されたアプリケーション/ミドルウェア経由であれば、暗号化されたファイルへの透過的なアクセスが可能です。(プロセスにもデリゲートが可能)アプリケーション/ミドルウェアにデリゲート機能を設定する際、ソースコードの改修などは一切必要ありません。



## Point to Point Encryptionを実現

FPVE同士(または、Protegrity Security Suite製品)であれば、拠点間(Point to Point)のファイル転送も暗号化されたままの状態で行うことが可能です。



Protegrity社について

Protegrity社は、米国コネチカット州スタンフォードに1996年に設立されました。米国金融ヘッドクォーターの集うスタンフォードを中心に各重要セキュリティソリューションを提供・展開しており、米国、ヨーロッパ、中国、およびイスラエルに開発拠点をもち「Protegrity Security Suite」を、ワールドワイドに提供しています。現在米国では、PCIDSSに基づくセキュリティソリューションの提供を中心に行っており、主要銀行、大手小売店から、大手ECサイト、大手アパレルなどへの導入し、トータル・セキュリティ・ソリューションを提供しています。



株式会社MONET

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-16-5  
TUCビル7F  
tel.03-5809-3188 fax.03-5809-3189  
http://www.monetz.com/

※表記は2011年6月の製品情報です。ソフトウェアのアップデート等により変更になる場合があります。  
※株式会社MONETはProtegrity社の日本総代理店です。  
※記載の会社名・製品名は各社の登録商標または商標です。